

【本郷教室 教室長ブログ】 3月8日(土)

こんばんは。

教室長の大内です。

先日、公立高校の合格発表がありました。

結果は19名中18名が合格でした。

今年は倍率1.4倍以上の

高校を受けた生徒さんが多く

送り出す方は本当に冷や冷やしましたが

概ね点数を取らせてあげることが

できたのかなと思っています。

浦和高校に合格した生徒さんは

「入試直前の最後の授業でやった問題、

あれがなければ答えられないものがあって

本当に助かりました！

先生、ありがとうございました！」と

試験終了後に来塾して

お礼を言ってくれました。

発表日当日は13時から本郷教室で

私立単願の生徒さんを交えて

受験お疲れ様・卒業おめでとう会を開催。

景品ありのビンゴゲームをしたり

私がギターで、テツ&トモのパロディ

「クリエイトのなんでだろう」を披露し(笑)

最後に記念写真も撮りました。

今年は特に、

「この子はこんなに頑張ることができるんだ！」

と思えたことが何度もありました。

特に昨年度の泰平中3年生の代は
地域の方ならご存じだと思いますが
「能動的で優秀」と言われており、
今年度の3年生は比べられることが多く
「どうせ私達は…」と
口に出すわけではないですが
どこことなく卑屈に思っている雰囲気
あった気がします。

他人と比べることで危機感が増し
より努力が促進されるのであれば
大いに比べて良いと思います。

しかし、ただただ卑屈になり
行動力を失わせることにつながる比較は
しない方がいい、
いや、するべきではないと思います。

最終的には倍率すら気にならなくなるほど
彼らは自分と向かい合い
私達についてきてくれ、
私達の想像を上回る努力を
たくさん見せてくれました。

それが本当に嬉しいです。

どうか、その底力を
これからも発揮して頑張ってください！

そして、それでも届かないときもあること…
それも思い知らされた受験でした。

塾としては悔しく、申し訳ない思いです。
何とか合格させてあげられなかったのかと

合格した生徒さんを喜ぶと同時に
残念な結果だった生徒さんに
思いを馳せています。

そんな最中、
今日嬉しいことがありました。

本郷教室のある卒業生が
この春から社会人になるということで
その挨拶に来てくれました。

彼は公立高校を受験しましたが一步届かず、
私立高校へ進学した生徒さんでした。

その後のようすは
弟さんや妹さんも通って頂いたので
高校での充実したようすや
大学での活躍ぶりなどを
伝え聞くことはありましたが
本人と直接会うのは本当に久しぶりでした。

彼が持つ独特のユーモアは失われておらず
むしろ話の内容が理路整然としていて
非常に分かりやすく
会社の面接で「君、いいね～！」と
言われたことに心から納得できる
立派な社会人に成長していました。

そんな彼が言ってくれたこと。

それは・・・

「公立高校受験が残念な結果になったことは
当時確かにショックでした。
本当に「落ちる」ことってあるんだと
思ってしまうほど。

でも、少し経って
残念な結果だったのは
自分の責任なんだよな
これから先の選択や結果は
全部自分次第なんだと
思うようになり
そこが僕の人生にとって
ターニングポイントになりました。」

辛いことが起きるから不幸なのではない。
辛いことに負けてしまうことが不幸なのである。

彼にとって高校受験の結果は
辛いものだったと思いますが
彼はそこから確実に学び取り
辛いことに負けませんでした。

彼の高校受験からおよそ 10 年の時を経て
あのときの悔しさが喜びに変わりました。

今回、悔しい結果だった生徒さんも
どうかそこから立ち直り
あのときの経験が僕にとって大切だったと
言えるような人生を掴み取ってほしいと
心から願っています。

今日は本当にどうもありがとう。

君は心から誇れる自慢の生徒です。

これまでも、今も、これからも
ずっと応援させて下さい。

大内